



## 学校図書館を使いこなす

## 図書館教育研修

学校図書館には3つの機能があることをご存知でしょうか。

10月17日に実施した図書館教育研修では、放送大学の塩谷京子客員准教授をお招きし、学校図書館がもつ3つの機能のうち、特に「学習センター機能」と「情報センター機能」に焦点を当てながら「学校図書館を活用した授業づくりの推進」というテーマでご講義いただきました。

「複数の情報・根拠をもとに、比較・関係づけるなどの思考を通してこそ、子どもたちが『自分自身の考えをもつ』ことにつながっていく」、「本やインターネットに載っていることは、自分の考えをつくるための理由や事例（根拠）である」ことなどについて、就学前から高等学校までの学びの連続性にもふれながら示していただきました。

学校司書と教員が積極的に連携し、授業や単元のねらいを共有することで、学校図書館の機能がより一層引き出されます。まずは、その日の授業や子どもたちの様子を交流するところから始めてみてはいかがでしょうか。

### 学校図書館の機能

- ①読書センター機能  
・読書活動の推進および読む力の育成 等
- ②学習センター機能  
・授業のねらいに沿った図書館資料の活用 等
- ③情報センター機能  
・情報活用能力の効果的な育成 等

出典：学校図書館司書職員の求められる役割と能力向上のための実践

### 【受講者アンケートより】

- ・本日の研修を通して、「学校司書との連携」の在り方が見えました。選書のエキスパートである学校司書の先生と授業のねらいやめあてを共有し、よりよい資料を選定したいです。家庭科や総合の事例も非常に参考になりました。
- ・幼稚園・こども園から高等学校まで、学びがつながっていることを改めて認識できました。学校司書の先生とも連携を取りながらさまざまな教科で取り組みたいと思いました。
- ・「興味関心をもつための情報収集」と「問いを解決するための情報収集」という、情報収集の焦点の当て方に関しても、私自身新しい考えをもつことができました。
- ・文章の内容とその子自身の体験とを結び付けることが、書くことにつながる1つの手段だと知ることができました。そして、その体験等を言語化する積み重ねが特に重要であると感じました。

## スポーツ会

## 教育支援センター(ふれあいルーム)

10月8日(火)、ふれあいルームではスポーツ会を実施しました。この日のために準備や練習に取り組んできたルーム生たちは、たくさんの教職員や保護者に応援してもらう中、仲間と協力しながら競技に参加していました。拍手や仲間を真剣に応援する声、そして笑い声があふれる温かい雰囲気の中で競技が進行されました。大縄跳びでは、失敗しても諦めずに何度も挑戦している姿が見られ、保護者からは「大縄跳びを跳べるようになってビックリしました」などの感想がありました。また、スポーツ会の最後の種目としてルーム生やスタッフ、教職員、保護者で「マイムマイム」を踊りました。手をつなぐことが恥ずかしいと思う子どもたちのためにも、一人ひとりが布を持ち、つながることで、全員で大きな円を作ることができました。誰一人見学することなく、楽しく参加していました。踊りが進むと曲のテンポが速くなり、それとともにかけ声や笑い声もどんどん大きくなるなど、スポーツ会の締めにふさわしい「マイムマイム」となりました。

ふり返りの時間では、競技を通してルーム生との仲が深まったことや自分自身が成長できたこと、見に来てくれた保護者や先生への感謝、一緒に参加できた喜びなど様々な感想を書いていました。



10月17日(木)に東大阪市教育センター主催の「教育講演会～保育の見学と子育て講演会～」を市立英田幼稚園にて開催いたしました。当日は楽しみながら真剣に遊ぶ子どもたちと、先生方の素敵な笑顔がたくさん見られました。

教育講演会は、保育に関わる講演会を通じて、参加者に子育ての楽しさや喜び、発達段階に応じた子育て支援や就学前教育の意義について知っていただくことを目的に、東大阪市民、市内学校園教職員を対象に、毎年実施しています。



### 保育の見学 「にこにこタイム ～『楽しい! やってみたい!』を通して学べる子どもへ～」

保育の内容は、4歳・5歳の子どもたちがともに遊ぶ「にこにこタイム」でした。子どもが「やってみたい!」と思う気持ち大切にされていました。園の先生方は、道具や材料を準備し、子どもたちが自由に遊び、探究できる環境を整えていました。例えば、色とりどりの色水や、段ボール、テープ等が用意されており、子どもたちは自ら興味・関心を持ちながら、夢中になって遊んでいました。

また、先生たちも一緒に楽しむ姿が見られ、子どもたちと対話を通して信頼関係が築かれていることが感じられました。このような楽しい環境の中で、子どもたちの確かな成長が促されています。

### 子育て講演会 「みんなで子育て! 家庭・保育・教育・地域で子どもを育てましょう!」 講師 : 大阪教育大学 小崎恭弘 教授

大阪教育大学の小崎恭弘教授より、子育てや幼児教育についてご講演いただきました。参加者にとって多くの気づきや学びのある内容となりました。講演では、保育における子どもたちの「やってみよう! 遊ぼう!」という意欲を引き出すために、環境構成がいかに重要かが示されました。小崎教授からは、園の先生方が多様性のある環境を工夫していることに触れ、これが一つひとつの経験の積み重ねにつながり、子どもたちの豊かな学びを実現することを教えていただきました。

特に、4歳と5歳という発達段階にはそれぞれの時期に意味があり、それらを大切にすることが必要だということ。さらに、異年齢の子どもたちが関わる「にこにこタイム」について、さまざまな価値観を持つ子どもたちが交流することで、互いに成長し合う機会が生まれると話されました。

子育てについては、子どもたちが親の表情を意識していることや、子どもと仲良くなる方法など、具体的で実践的なコツを豊富な知識と経験に基づいて示していただきました。特に印象的だったのは、「子育てを楽しもう!」という教授の明るいメッセージです。この言葉は参加者の心を温かく包み込み、前向きな気持ちを引き出すものでした。参加者は、子育てに対する新たな視点を得ると同時に、実践に役立つ知識を学ぶことができました。

### 「子どもと仲良くなる10の方法」

1. 笑顔であいさつをする
2. 朝の時間を一緒に過ごす
3. ミルク、離乳食を食べさせる
4. 子どもの好きなことをする
5. 子どものペース・ルールにあわす
6. 大好きと伝える
7. ダイナミックな遊びをする
8. 読み聞かせの絵本を作る
9. 二人だけで出かける
10. イベントなどで非日常を演出する



#### 《参加者の方の感想より》

- ・育児や子どもの成長等で悩むことも多々ありますが、この講演を聞いて子どもと一緒に悩みながら、成長していきたいと思いました。
- ・未っ子が卒園して3年半、遊びが学びだったんだ!!と改めて気づかせて頂ける、見学して楽しい保育でした。どの子どもたちも生き生きして、自分の子どもとの関わり方を見直すきっかけになりました。また、小崎先生の講演も学びが多く夫婦間で共有したいと思いました。ありがとうございました。
- ・とても楽しい時間をありがとうございました。子育てが楽しいと思って日々生活していますが、ちょうどええかげん、肩の力が入りすぎな時も笑っていたいと思います。お話が聞けたこと幸せです。また参加したいです。にこにこタイム、毎日の積み重ねありがとうございます。